

DATA VIRTUALIZATION FOR TODAY'S



今日の最高情報責任者 (CIO) が抱えている最大の懸念は、増加の一途を辿っている大量のデータを従来よりもはるかに短時間で統合することを迫られていることではなく (これについては、依然として懸念されるものの)、こうした取り組みに関連して生じるコストの増大です。

そのため、本書では、実際の企業の情報に基づいた、競合他社の情報を分析するためのベンダーデータのプロビジョニングで用いられる、3種類のアプローチによる簡単なコスト分析方法を示します。





オプション1

物理データ統合プロジェクトにITを利用

この最初のオプションでは、複数ベンダーのサブスクリプションデータを物理的に統合されたビューとして構築するようIT部門にリクエストします。以下のとおり、所要期間は12週間程度と考えられます。

- **1週目**
プロジェクトリクエストを開始する
- **2～3週目**
IT部門がプロジェクトを開始できるようになるまでに、一般的に必要なとされるリードタイム
- **4～5週目**
要件の収集と定義
- **6～8週目**
設計と開発
- **9～10週目**
ベンダーのサブスクリプションデータの物理的な統合
- **11週目**
テストとデバッグ
- **12週目**
データが一般に利用可能に

必要なIT部門のコミットメント

1人

ITリソース

12週間

1週間につき40時間勤務

費用

17,300ドル

(年間給与を100,000ドルとして計算)

*新しいベンダーやデータ形式が出現した場合には改訂が必要であることに注意



オプション2

セルフサービス型BIおよびアナリティクスツールを使って分析を実行

このオプションは、「ほとんどのビジネスユーザーはExcelを使うことで満足しているものの、専用の可視化ツールを使ってこうした競合他社の情報の分析を行えば、作業をさらに容易化できる」という前提に基づいています。このオプションでは、以下のとおり、最初のオプションよりもはるかに短時間で、15日以内に完了できる可能性があります。

- **1日目**
ビジネス上の問題の枠組みと対応するデータ要件を特定する
- **2～5日目**
IT部門、Web担当者、過去の取り組みのスプレッドシートやフラットファイルからデータを探して集める
- **6～9日目**
データの準備: 最低限のデータを準備してBIプロダクトサーバーにロードし、さまざまなソースからのデータを手動でブレンド。また、分析用の新しい変数を計算する式を追加し、KPIや測定評価基準などのデータを追加する必要があるかどうかを判断
- **10～11日目**
追加データを見つけて取得
- **12～14日目**
データの準備の続き: 新しく取得したデータを手動でブレンドし、BIツールと互換性のある形式にフォーマット
- **15日目**
データ可視化と分析

必要なIT部門のコミットメント

1人

ITリソース

3週間

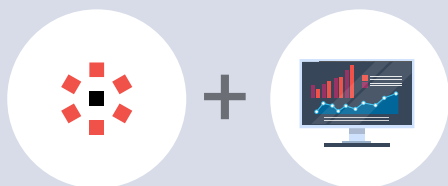
1週間につき40時間勤務

費用

2,884.61ドル

(年間給与を100,000ドルとして計算)

*新しいベンダーやデータ形式が出現した場合には改訂が必要であることに注意



オプション3

データ仮想化を利用した動的データカタログとオプション2を用いて分析を実行

このオプションでは、データ仮想化を利用したデータカタログを追加します。データ仮想化は、ソースデータを移動させなくても、複数のソースからのデータのビューをリアルタイムで統合できる、強力なデータ統合技術です。このテクノロジーをデータカタログに追加すれば、データの格納場所にかかわらず、データへのリアルタイムのアクセスを可能にするデータカタログを実現できます。ディスクバリエーションおよびデータ準備のために、データ仮想化を利用したデータカタログを可視化ツールとともに活用すれば、ユーザーは、データを迅速に見つけて準備し、必要な分析を実行して、適切なベンダーをすぐ選ぶことができますようになります。このオプションは、以下のとおり、わずか3日で完了できる可能性もあります。

- **1日目**
問題の枠組みを特定し、データのニーズについて検討
- **2日目**
 - 1時間程度でデータを見つける: データ仮想化データカタログを使って検索を実行し、信頼できるデータを見つける
 - 数時間でデータを準備する: カタログ内でデータの選択からデータの準備へとシームレスに移行し、ドラッグアンドドロップ形式のインターフェイスを使ってデータをモデリングすることで分析のニーズに対応。またワンクリックで再使用可能データサービスAPIを構築するか、可視化ツールにデータをエクスポート
 - 可視化と分析: 準備されたデータを適切な形式で提供し、各種の可視化ツールで分析。可視化と分析を繰り返す
- **3日目**
再使用可能なデータ資産が一般用途向けに利用可能に

必要なIT部門のコミットメント

1人
ITリソース

4時間
1週間につき40時間勤務

費用

192ドル
(年間給与を100,000ドルとして計算)

費用の比較



分析にかかる時間 (時間)

オプション1

480

オプション2

120

オプション3

4



分析にかかる費用 (ドル)

オプション1

17,300

オプション2

2,884

オプション3

192

データ仮想化と可視化ツールを組み合わせるオプション3が、明らかに最も費用効果の高いオプションです。データを複製する必要が一切ないため、これは最速のオプションでもあり同時に、最も信頼できる最新のデータを提供するオプションでもあります。

* 最初の2つのオプションと異なり、このオプションでは、データが確実にタイムリーに提供される。これは、データ仮想化により、元の場所に格納されているデータをリアルタイムで確認できることによる



顧客事例



Enverus社は、エネルギー資源探査に関する意思決定をサポートするデータアナリティクス企業です。石油およびガス産業が、より良い結果をより迅速に得られるように支援しています。Enverus社は、データを物理的に複製する代わりにデータ仮想化を導入することで、社内外のユーザー向けに、通常ならば**1～2週間かかるところをわずか1日**でデータサービスを構築し、提供することができました。

“

Denodoプラットフォームのおかげで、社内外のユーザー向けに、**わずか1日**でデータサービスを構築して提供することができました。ETLを使う場合は**1～2週間**かかります。

－ ENVERUS社、マネージャー



株式会社ジールは、「専門的な分析基盤を用意に実現する」企業分析の専門集団です。最新の技術と情報処理技術を駆使し、お客様の業務に合わせたデジタルトランスフォーメーションを提供します。コンサルティングから設計、開発、さらにはサポートサービス、教育サービスまでシステム導入のすべてを提供でき、多種多様な導入実績に基づいた知見で、お客様が抱えるあらゆる課題を解決します。

ホームページ www.zdh.co.jp



Denodo は、データ仮想化市場をリードする企業として、高性能で柔軟なデータ連携、データ抽象化、リアルタイムのデータサービスをエンタープライズ企業、クラウド、ビッグデータ、非構造化データなど幅広い環境に従来の手法の半分のコストで提供しています。すべての主要な業界におけるDenodoのお客様は、事業のアジリティとROIを大幅に向上させました。

ホームページ www.denodo.com